

ブロック積擁壁工 丁張

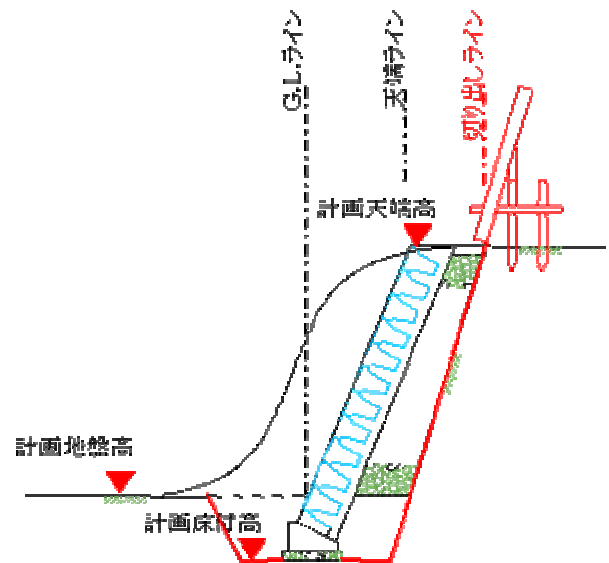
■測量工事 直接費 歩掛 (10m当り)

名称	数量	単位	単価	金額
測量工(技師)		人		
測量工(技師補)		人		
木杭		本		
胴縁 L=2m		枚		
雑材		式		

■作業手順

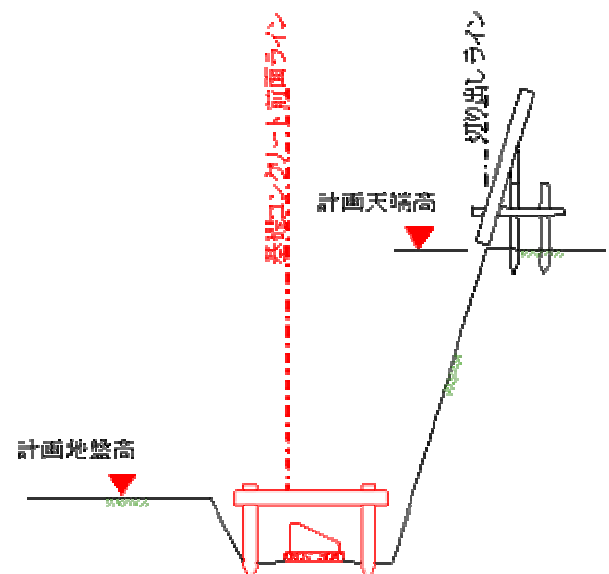
①掘削(切り出し)丁張りの設置

- 1) 準備
設計図面の確認(平面図・横断面図・縦断面図・構造図etc)
- 2) 測量
基準点もしくは道路中心杭から切り出しポイントを設置する。
- 3) 丁張り加工
切り出しポイントから50cm程逃げた地点に木杭を2本打ち、計画天端高から30cm程上げた高さに貫を設置する。(貫は上端で設置)
設計図面で掘削勾配を確認し、勾配定規にて掘削ラインに沿って胴縁を設置する。尚、貫には床付までの法長、高さを記入しておく。



②基礎コンクリート丁張りの設置

- 1) 準備
設計図面より基礎コンクリートの前面位置を計算しておく。
- 2) 測量
基準点もしくは道路中心杭から基礎コンクリート前面ポイントを設置する。
- 3) 丁張り加工
基礎コンクリート型枠組立を考慮し、当たらない地点に木杭を2本打ち、基礎仕上げ高から20cm程上げた高さに貫を水平に設置する。(※型枠組立やCon打設時に邪魔にならないようにする為)尚、貫には基礎の通りを明示する釘を打設し、Con打設仕上がりまでの高さを記入しておく。



③ブロック積丁張りの設置

1) 準備

設計図面よりブロック積法尻位置を計算しておく。

2) 測量

基準点もしくは道路中心杭からブロック積法尻ポイントを設置する。

3) 丁張り加工

基礎コンクリート型枠解体および出来形写真撮影後、基礎コンクリート丁張りの高さを確認し、施工時を考慮して左図のように加工する。尚、ブロック積の計画勾配にあわせ勾配定規にて胴縁を設置するにあたり、切り出し丁張りを利用して、計画天端での天端巾も併せて確認する。特に天端ラインが道路など、有効巾が必要な場合は、下から勾配定規のみで胴縁を掛けないこと。尚、貫には等間隔で左図のようにマーキングし、G.L.高や天端高を明示する釘を打設しておく。

